

[成果情報名] 山形県内共通遊漁証購入者アンケートに基づくサクラマス釣獲の実態

[要 約] 共通遊漁証購入者に対するアンケートを分析した結果、近年ではサクラマスの釣果を得られる人の割合に増加がみられ、315～1,108尾／年の釣獲が推測された。

[部 署] 山形県内水面水産試験場・資源調査部

[連絡先] TEL 0238-38-3214

[成果区分] 政

[キーワード] サクラマス、釣り、共通遊漁証、釣獲数

[背景・ねらい]

サクラマスは遊漁者から人気が高く、県内には全国的に有名な河川も存在する。こうした遊漁者の実態について理解しておくことは、内水面漁業振興にとって重要であり、サクラマス資源評価にも役立つと考えられることから遊漁証保有者に対するアンケート結果を分析した。

[成果の内容・特徴]

- 1 使用したデータ 山形県内水面漁連（以下、連合会）が平成23年、平成26～29年の共通遊漁証保有者（全魚種券・アユを除く全魚種券：連合会取扱分）に対して行ったアンケート結果を使用した。個票は個人を特定できないもので、平成26年は対象者が県内在住であるか県外かを判別した。全魚種券（以下、全魚種）の発行総数は654で有効な回答数は650であった。アユを除く全魚種券（以下、雑魚）の発行総数は1,916に対し、有効な回答数は1,818であった（表1、AおよびB）。
- 2 サクラマス釣行の有無 「釣りをする魚種」でサクラマスを挙げた人の割合は全魚種で22%、雑魚で60%であった（5か年平均）。全魚種ではサクラマス釣りをした人の方が少なく、雑魚では半数以上がサクラマス釣りをしてきた（図1）。また、平成23年と平成29年を比較すると全魚種で25%、雑魚で8%減少していた（平成23年比）。全遊漁人口の母数は減少傾向にあるが、それ以上にサクラマス釣りをした人は減少しているものと考えられる。
- 3 釣果の有無 「釣りをする魚種」でサクラマスを挙げた人のうち、県内で1尾以上の釣果を得られた人の割合は全魚種で20%、雑魚で29%であった（5か年平均）。雑魚を保有し、サクラマス釣りをした人の約4人に1人が釣果を得ている計算であった。さらに、平成23年と平成26年に釣果を得られた人の割合は、それぞれ25%、31%であったのに対し、平成28年と平成29年は39%、34%であり、近年は釣果を得られる人の割合が増加している傾向だった（図2）。つまり、全体としてサクラマス釣りをした人の数は減少しているものの、現在サクラマス釣りをする遊漁者には機会が拡大しているものと考えられる。一方で、平成27年のように釣果不良と考えられる年もあった。
- 4 釣獲数 有効回答者が遊漁証発行枚数と等しくなるように補正をした結果、「県内で釣ったサクラマスの尾数」は全魚種・雑魚合わせて74～258尾／年の範囲であった（表1、D）。次に発行枚数あたりの釣獲数を求め、連合会以外の漁協や釣具店が取り扱う共通遊漁証数に乗じた（表2、G）。これにより全共通遊漁証保有者の県内での釣獲数は315～1,108尾／年の範囲となった（図3）。なお、連合会以外の共通遊漁証は、県外在住者よりも県内在住者の割合が高く、いわゆる地元の利を活かして釣獲数が増加することが予想される。しかし、連合会取扱分では県外・県内在住間で釣獲数に有意差は観察されなかったため（Mann-Whitney U test, $P=0.75$ ）、これについては考慮しなかった。

[成果の活用面・留意点]

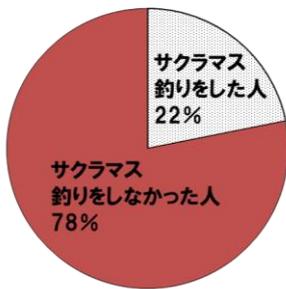
- 1 再放流した尾数も含んでいると考えられるので、釣獲数の全てが持ち帰りではないことに留意する。なお、平成23年は遊漁期間中に東日本大震災が発生しているが、その影響は考慮していない。

[具体的なデータ]

表1 アンケート結果を基にした遊漁証発行枚数あたりのサクラマス推定釣獲数(尾)

種別	年	発行枚数 (A)	有効回答数 (B)	釣りをした人	しなかった人	釣果あり	釣果なし	釣獲数 (C)	発行枚数による補正値 (D=A/B×C)	発行枚数あたりの推定釣獲数(尾) (E=D/A)
全魚種	H23	123	118	32	86	4	28	8	8	0.07
	H26	124	127	28	99	6	22	9	9	0.07
	H27	132	128	27	101	4	23	5	5	0.04
	H28	132	140	27	113	9	16	17	16	0.12
	H29	143	137	28	109	5	23	9	9	0.07
雑魚	H23	390	379	240	139	59	181	129	133	0.34
	H26	379	373	237	136	73	164	158	161	0.42
	H27	390	365	215	150	40	175	64	68	0.18
	H28	389	363	204	159	80	124	226	242	0.62
	H29	368	338	198	140	68	130	175	191	0.52

全魚種(5か年 N = 650)



雑魚(5か年 N = 1,818)

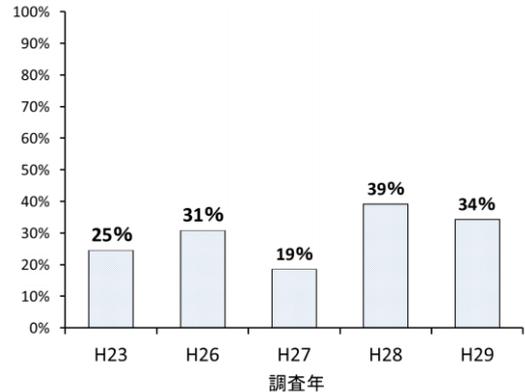
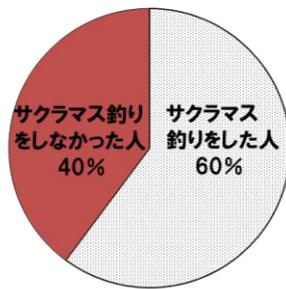


図1 サクラマス釣行の有無(5か年平均)

図2 サクラマス釣りをした人のうち、釣果を得られた人の割合(雑魚のみ)

表2 連合会以外が取り扱う遊漁証発行枚数に基づくサクラマス推定釣獲数(尾)

種別	年	連合会除く発行枚数 (F)	発行枚数あたりの推定釣獲数(尾) 再掲: (E=D/A)	連合会除く推定釣獲数(尾) (G=F×E)
全魚種	H23	597	0.07	40
	H26	596	0.07	42
	H27	588	0.04	23
	H28	588	0.12	71
	H29	577	0.07	38
雑魚	H23	1,250	0.34	425
	H26	1,261	0.42	534
	H27	1,250	0.18	219
	H28	1,251	0.62	779
	H29	1,272	0.52	659

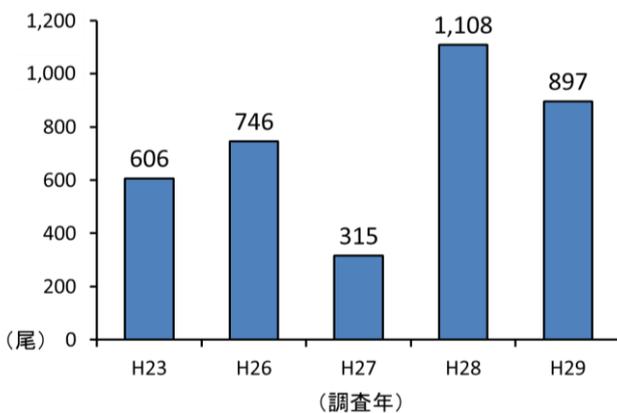


図3 全共通遊漁証保有者の県内でのサクラマス推定釣獲数(尾)

[その他]

研究課題名: 内水面重要魚種モニタリング事業 予算区分: 県単
 研究期間: 平成30年度(平成26~29年度) 研究担当者: 鈴木 悠斗 発表論文等: なし